令和８年度　全国学力・学習状況調査結果について

横浜市立本牧南小学校

４月に実施した全国学力・学習状況調査（６年生対象）の結果について、概要をお知らせします。

（１）「教科別学習状況調査」の結果から

［教科を中心とした学力・学習状況］

（全国基準）



［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］

（全国基準）



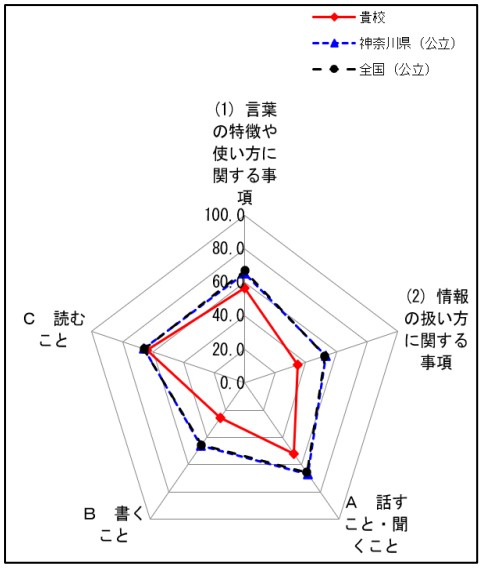
（神奈川県基準）



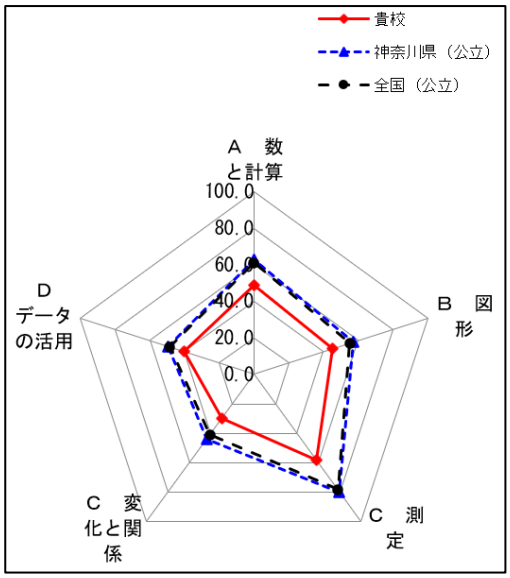
（神奈川県基準）



国語



算数



（２）調査結果を受けて

２教科とも、全国および神奈川県の平均正答率を下回りましたが、各教科で児童の強みと課題が見られました。

【国語】

目的に応じて必要な情報を見つける問題では、全国平均を上回る結果となりました。また、理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力についても一定の成果が見られました。一方で、文章全体の構成や展開を考えて表現することや、複数の情報を関連付けながら読み取ることには課題が見られました。

今後は、自分の考えを述べるに留まらず、なぜそのような考えに至ったのか、理由や根拠を示して表現する授業の充実に努めていきます。また、１つの情報だけではなく、２つ以上の情報からどのようなことが考えられるのか多角的な視点で物事を考えられる力を育てていきたいと考えています。

【算数】

計算による立方体の体積の求め方や、帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取る問題では、平均を上回る結果となりました。これは基礎的・基本的な知識や技能の一部について定着が図られていることを示しています。一方で、学習した知識や技能を活用して問題解決の方法を説明したり、表から必要な情報を読み取ったりすることには課題が見られました。

今後は、日常生活と関連付けた課題に取り組む学習や、自分の考えを言葉や式で説明する活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。

【生活習慣・規範意識】

「友達関係に満足している」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」「地域や社会をよくしていきたいと思う」と回答した児童が全国および神奈川と比較して平均を上回りました。友達との関わりの中で安心して学校生活を送り、地域とのつながりを大切にしながら生活している様子がうかがえます。生活科や総合的な学習の時間を中心とした地域との学びや、日頃の教育活動の積み重ねが、児童の豊かな心や社会参画への意識の向上につながっていると考えられます。

今後も保護者や地域の皆様と連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。